

国際ロータリー第2790地区 第8グループ

創立1957年3月23日

銚子ロータリークラブ会報

第3323号 2025年9月3日(水)発行

例会場 銚子商工会館5階大会議室(銚子市三軒町19-4)

TEL0479-23-0750 FAX0479-25-8789

本日のプログラム

「広域災害時の保険会社の事故対応について」

川上 英治会員

前回例会報告(8月27日)

点 鐘： 淵岡 彰介会長

ロータリーソング：それこそロータリー
ビジターなし



会長挨拶



23日の土曜日に地区の危機管理・災害対策委員会主催の「危機管理セミナー」に参加しました。内容は「災害対策について」と「青少年プログラム参加者の保護」という2本立ての講演でしたが、皆さんと共有した方がいいかなと思う事項について少しお話ししたいと思います。

最初の災害対策については、千葉県庁の地域防

災支援室長から話がありました。その中で印象に残ったのは、災害が発生した際には「自助、共助、公助」をそれぞれ高めていくことが地域防災力の向上につながるという一方で、公助には限界があるということです。一般的には、広域災害発生時の自助・共助・公助の寄与率は、7：2：1ということですので、自助の重要性がよくわかります。自助の取り組みとして具体例を挙げていましたが、例えば①大きな家具や家電製品の転倒防止対策②自分の避難計画(災害レベルに分けて策定しておく)③ローリングストック(特に水と食料は3日から1週間分)などです。当たり前のことのようにですが、皆さんの実施状況はいかがでしょうか。対応不十分とお考えの方は、県の「じぶん防災」というサイトがあるそうですので、そちらをご覧くださいになって自助計画の充実を図って頂くようにお願いします。

二つ目の「青少年プログラム参加者の保護」についてはライジェム(国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構)が用意した青少年保護に関するケーススタディのQ&Aがいくつもありましたが、AIによる説明がものすごく早口で聞いて疲れました。ただ、実際問題として様々な不祥事が発生しているようですので、ローターアクトを通じて青少年などと接点の多い当クラブとしては、わきまえて行動する大切さをよく認識しておくべきと感じました。

具体的内容については、「危機管理セミナーの資料(1枚紙)」を回覧していますが、そこに「ロータリー青少年保護の手引き」と書かれたQRコードがありますので、読み取ってご覧になってください。

2025-26年度フランチェスコ・アレッツォRI会長

銚子RC Email d2790@choshi-rotary.club

UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう

H P <https://www.choshi-rotary.club>

製作◇広報・会報委員会 飯島良春

大岩將道 宮内秀章 上原 航◇



幹事報告

1. 第1回クラブ・地区支援室メッセージ(2025-26 Q1)
…R I 日本事務局
2. コーディネーターニュース 2025年9月号
3. ロータリー全国囲碁大会のご案内
4. 危機管理セミナー御礼
5. MCR レポート7月期
…ガバナー事務所
6. 奨学生・学友証明書送付のお知らせ
…公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
7. 館報秋号 2025vol.46 賛助会ご入会のお祝い
…公益財団法人米山梅吉記念館
8. 第72回銚子市小中学校児童生徒・教職員科学作品展に係る特別賞交付のお祝い・作品展開催のご案内
…銚子市小中学校文化振興協会
9. 秋の交通安全運動出動式及び交通安全キャンペーン等の参加について
…銚子市交通安全都市推進協議会



ニコニコBOX なし

会員の記念日

お誕生日おめでとうございます。



信太 秀紀会員(8月25日)



入会記念日 上総 泰茂会員(8月21日)

卓話

「備蓄米を中心とした米制度について」

松本 恭一会員



本日は「備蓄米」を中心とした米制度の話をしていただきます。5月20日に東クラブさんで同タイトルの卓話をさせていただきましたが、3か月たち状況が変わってきましたので大幅に内容を変えてお話しさせていただきます。

現在のお米の制度は、1995年施行の「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」(略して食糧法)が基本です。この食糧法は1993年に起きた2つの大きな出来事により誕生しました。ひとつは1993年「平成の米騒動」とよばれた記録的冷夏、大凶作です。原因はその2年前の6月に起きたフィリピンのピナトゥボ火山大噴火だといわれています。20世紀最大のこの噴火で火山灰が成層圏まで達し地球を覆い影響が長引きました。

もうひとつは1993年GATTウルグアイラウンドでの合意。世界の自由貿易への流れにより米も例外では無くなりました。これらの要因により新「食糧法」制度ができ、「備蓄米制度」と「輸入米」が誕生しました。

備蓄米制度について

1993年「平成の米騒動」がきっかけですが、毎年政府が米を20万トン買入れ5年間保管した後飼料米として放出する、そして新たに20万トンを買入れるローリングストック方式で常に100万トンを備蓄しておくことになっています。その備蓄米放出条件は①自然災害②極度の不作の二つであり、今回の米騒動は備蓄米放出条件にはあたりません。そのため政府は当然放出を渋っていましたが、世論におされた格好で放出を決定しました。4月より入札で31万トン、5月以降に随意契約で28万トン、加工原料向けに7.5万トンその為備蓄米の在庫は29.5万トン、さらに再放出も考えているとのこと。ちなみに過去30年間の放出は、2011年東日本大震災4万トン、2016年熊本地震90トンのみです。

備蓄米は全国 300 社、千葉県では 7 社位の営業倉庫で預かっています。庫内は 15° C 以下湿度は 60~65% に保たれ厳重に管理した倉庫ですので品質の劣化はまずありません。保管料はかなり低く、5 年保管でどうにか採算が合う前提で預かっていましたが、放出条件にも当てはまらず新しい米からどんどん出庫する今回の出来事は、倉庫会社にとっては大変な痛手です。備蓄米制度が崩壊するのではないかと危惧されます。

輸入米について

これも 1995 年の制度改正により生まれました。具体的には①政府が強制的に輸入するミニマムアクセス米 (MA 米) と②民間が高い関税 (kg @341 円) を払って自由に輸入する米があります。MA 米は海外から輸入するよう求められた最低限度の輸入米 77 万トンのことです。1993 年 GATT のウルグアイラウンド、貿易のルールを決める国際的通商交渉の中で、世界の流れである貿易の自由化について話し合われました。農産物に関しては、自国の農業を守りたい日本と余った農産物を輸出したい農業国のせめぎあいがあり、妥協として生まれたのが MA 米制度です。無条件で年間 77 万トンだけは輸入しますが、それ以外は高い関税をかけますよ (輸入しませんよ) という制度です。輸入先は米国とタイがほとんどです。国内の主食米の相場に影響を与えないよう加工用又は海外援助用に用途を限定しています。この内 10 万トンを限度に SBS (売買同時契約) 米が主食用に流通できますが、非常に高価になるにも関わらず、昨今の米不足で人気があります。また当時の GATT は WTO (世界貿易機関) に姿を変え現在に至っています。

この「備蓄米」と「MA 米」が政府米です。米制度は何年か毎に大きく変わってきましたが、今回の凶作が原因ではない米不足及び価格の高騰により、また制度が大きく変わっていくのは避けられないでしょう。



【出席報告】

会員総数 34 名 出席計算 32 名
出席 25 名 欠席 7 名
出席率 78.13%
欠席：東川君・石毛君・村田君・佐藤君
寺内君・上原君・吉原君



【M U】

8/30 奉仕 P セミナー 田中君

【ニコニコ】

ニコニコ BOX	¥ 6,350	計	¥112,350
スモールコイン	¥ —	計	¥ 10,150
米山 BOX	¥ 2,200	計	¥ 9,900
希望の風	¥ —	計	¥ 39,000

次週 (9月10日) プログラム

「会員増強と成田空港第3滑走路完成後の千葉県東部エリアの経済効果について」

多古町商工会会長 飯田 武之様

(20-21 第9G ガバナー補佐・多古 RC)

お弁当：桔梗屋(幕の内)



例会終了後、第1回親睦活動委員会を開催しました。

今後の例会プログラム

17日

「洋上風力発電を地元を活かしていくために」
銚子協同事業オフショアウインドサービス(株)
取締役 榎 建志様

24日

地区月間卓話
ロータリーの友委員会
25-26年度代表委員 西村 芳雄様(市原 RC)

10月 米山月間・経済と地域社会の発展月間

1日

「新入会員卓話」 藤本 一雄会員

8日

夜間移動例会・観月会 太陽の里 点鐘18時

12日(日)地区大会 TKP 東京ベイ幕張

15日

「銚子での10年」
犬吠埼温泉協議会 会長 梅津 佳弘様

22日

「理数教育(STEAM)を通じた
銚子の地域おこしへの挑戦」
銚子市地域おこし協力隊 小宮 一恭様

26日(日)第8グループラーニングセミナー 旭市商工会館3F

29日

1975-76年度交換留学生
ギルバートジェーン氏来日 例会卓話

◎例会欠席される場合は、ご連絡ください。

銚子 RC 事務局

Tel 23-0750

email d2790@choshi-rotary.club

「ロータリー憩いの森」 金島 弘会員

2013年6月吉日に猿田神社さんのご好意で、銚子ロータリークラブの会員及び夫人たちがひとり一本の桜(55本)を植樹することで誕生しました。

2018年7月8日銚子ロータリークラブ3000例会を記念して翌年憩いの森に、地区補助金申請して、階段設置、ふじ棚設置、ふじ二本、こぶし、さるすべり植樹しました。

猿田神社さんが年に一回草刈りをして頂いていますが、憩いの森として維持していくのには、クラブとして年二回くらいは草刈り含めた美化活動したいと思います。



「銚子ロータリークラブの理念」

1 ロータリーの基本である「個」を発揮する

「個」であるロータリアンが、互いに尊敬し合い、職業人としてプライドを持ち、ロータリー精神に則って奉仕活動を行う

2 銚子ロータリークラブの「良き伝統」を正しく継承する

銚子ロータリークラブの規律ある優しい雰囲気を保つ

3 入会したくなる「魅力あるクラブづくり」に全員が尽力する

良き仲間、良き奉仕を得て、人生を豊かに